

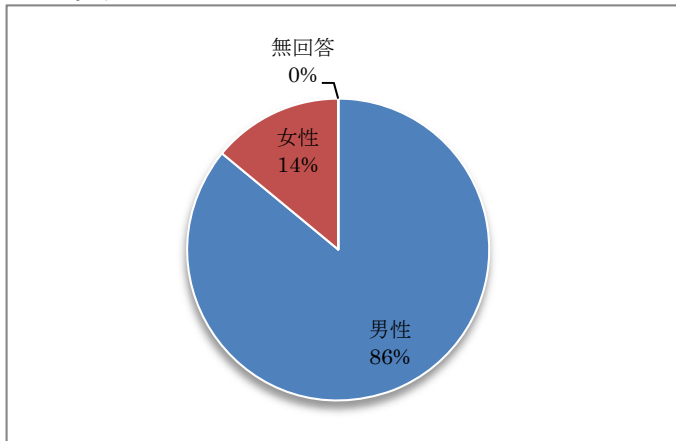
JAXA タウンミーティング in 八王子 開催報告

平成 30 年 3 月 25 日、JAXA タウンミーティング in 八王子 ～宇宙を拓く、未来を開く～ を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる「きぼう」日本実験棟の利用や宇宙教育について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

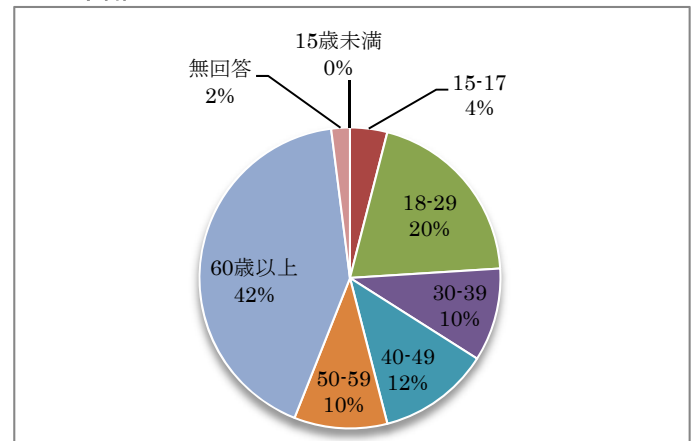
- 開催日時 平成 30 年 3 月 25 日（日） 14:00～16:30
- 会場 生涯学習センター（クリエイトホール） 視聴覚室
- 参加者数 53 名
- 登壇者
 - ・ JAXA 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター 技術領域主幹 坂下 哲也
 話題：「新しい『宇宙』の使いかた
 ～宇宙ステーションでのビジネス利用例を中心に～」
 - ・ JAXA 宇宙教育推進室長 桜庭 望
 話題：「宇宙を素材に何を学ぶのか」
- 進行コーディネーター
 - ・ JAXA 広報部長 庄司 義和

アンケート回答者の属性（有効回答数：50）

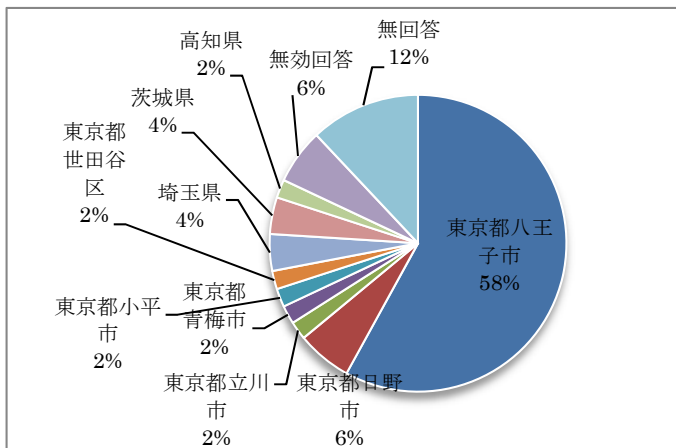
1. 性別



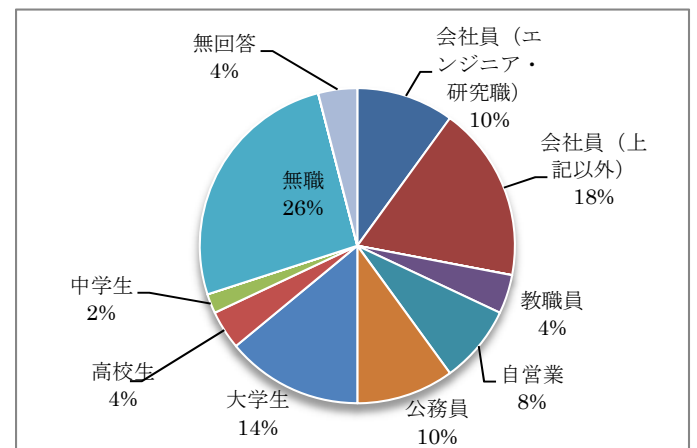
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇新しい『宇宙』の使いかた～宇宙ステーションでのビジネス利用例を中心に～

- ・ きぼう利用についての情報を知らなかったのが面白かったのですが、JAXA の他のリソースで企業や各種団体に開かれているものがあつたら PR して頂きたいです。
- ・ 資金的な面での問題はありますが、いろいろチャレンジしてほしいです。
- ・ 民間と本気でビジネスしたいなら別会場でやったらいいと思う。
- ・ 民間企業の資金をもっと活用すべき。現在はまだ公益性が高い状況かと思うが、利益を目的とするなら民間企業からの資金を吸い上げるべき。
- ・ 安全保障面ならともかく、軍事利用に JAXA の技術を活用してほしいです。
- ・ 未来に対する視野が非常に広がりました。
- ・ 実際に使われている機械を見せていただけると嬉しいです。
- ・ 技術開発ファーストの話では付いていけない人が多くなるので、エンターテインメント系のアピールが必要だと思う。ハヤブサの帰還のとき youtube などで盛り上がったので、一般の人たちが興味を持つための工夫は必要だと思う。

◇宇宙を素材に何を学ぶのか

- ・ 多様な事例をご報告いただきありがとうございました。宇宙も教育も未来への投資という枠組みで、先行きが明るい話題を増やしていければと思いました。
- ・ 小中高校生に対しての教育が進んでいることは理解できたが、大人に対しての教育が具体的な話が少なかったのは残念でした。
- ・ 高校生クラスの専門課程の学びの場（理工専門）を作ってはどうか。
- ・ 子どもたちの宇宙への興味をもっと高めて欲しい。
- ・ これから民間企業が宇宙に入り込んでいくにつれて、教育ニーズも高まると思うのでがんばっていただきたい。
- ・ 是非 JAXA の技術を小学生からできる教育を作ってください。
- ・ 学習指導要領に「宇宙教育」という項目を入れるのはどうだろうか。宇宙での仕事、宇宙という環境について紹介すればよいと思う。

■タウンミーティング、その他について

- ・ 受動的な研究利用よりも、必要な技術について積極的に呼びかけてほしい。
- ・ 面白かったので年に1回（複数回）このような機会があると嬉しいです。
- ・ 次回、八王子プラネタリウムで映像を使って講演を聞きたい。
- ・ 美容分野での宇宙実験も進めてはどうか。
- ・ 情緒的な部分も大切だが、JAXA の技術を前面に出して、見る人をワクワクさせるような教育、広報に取り組んでほしい。
- ・ 「働く場」としての宇宙を伝えていく教育も必要なのではないか。

